

第2回 聖籠町立小学校児童の通学のあり方検討委員会 議事概要

日時：令和2年1月16日（木） 19：00～20：40

場所：聖籠町役場3階 大会議室

委員出席者

16委員出席（1委員欠席）

事務局等出席者

全員（欠席者なし）

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 第1回検討委員会のまとめ
 - (2) 通学のあり方についての検討
 - ①送迎の対象とする児童
 - ②送迎の方法
 - ③利用者負担の財政上の問題
 - (3) その他
- 4 閉会

1 開会

○ 事務局

定刻になりましたので只今から「第2回聖籠町立小学校児童の通学のあり方検討委員会」を開催します。

2 会長あいさつ

○ 会長

お忙しいところありがとうございます。

皆さんの忌憚のない意見をお願いし、委員会としての意見をまとめられればと思います。

議題の1について事務局から説明をお願いします。

○ (1)第1回検討委員会のまとめについて、会議資料に基づき事務局から説明。

= 口頭で試算概要を下記のとおり説明 =

条件：・中学校冬期バスの単価を適用

・すべて民間に委託

①全児童（876名）を対象 ⇒ 約1億6000万円／年間

②胎内市の2.5kmを適用（81名）対象 ⇒ 約3000万円／年間

①の場合、循環バス・町が保有しているすべてのバスを利用しても対応できない

②の場合で、循環バス・園バス・公有車で対応し、対応できないところのみを業務委託とした場合、約1000万円／年間

- 会長
 前回、通学は徒歩が原則ではないかと言う意見がありましたが、この委員会では「バス等での送迎による通学の検討」ということで進めていって良いでしょうか。
- 《全委員承諾》
 まずは「①送迎の対象とする児童の範囲」について意見ををお願いします。
- 委員
 通年バス通学にしたいという事ですか。
 循環バスがなくなるから小学校の通学にまわしたいという事ですか。
- 事務局
 バスを走らせることで進めたいと考えていますが、特に問題なければその方向で検討をお願いしたいという事です。
 循環バスについては、公共交通のあり方について大きく見直す必要があることから、小学校の通学のあり方と中学校も含めて検討すべきだということです。
- 委員
 中学校と同じように冬期だけという事は考えてはいないでしょうか。
- 事務局
 委員会で検討していただきたいと思います。
- 委員
 町の方針は決まっているんですよね。
- 事務局
 決まっていません。
- 委員
 予算も考えると中学校と同じになるかと思います。
 2.5 kmは近隣の話であるので、その根拠を町側から示して欲しいという保護者の話もありました。
- 委員
 学校間とのバランスは別として、山倉小学校の場合は遠い距離を歩くというより一人とか少ない人数で長い時間を歩くことが心配です。
 蓮潟新田の集落は、夏場は朝7時10分に集合して1時間弱掛けて通学していますが、人数が多いので励ましあえます。
 四ツ屋は低学年がバスで高学年が徒歩になった場合、兄弟で通学方法が分かれるのはどうかと思います。
 集落全体を送ってもらえるなら2.5 kmはありがたいが、3kmの方が良い。
 四ツ屋、本三賀、蓮潟新田の送迎をお願いできればと思います。
- 委員
 蓮野小学校は藤寄分校と統合したことで、通学距離が遠い子どもたちが出てきたことが根本にあると思います。学年の縛りをなくして、藤寄、大夫興野、旭ヶ丘の3地区の児童を送迎してもらいたいと思います。
 前回、歩くことも大事にして欲しいという意見が出ましたが、藤寄体育館まで歩いて行き、そこからバスに乗車すると、歩くことと地区の縦割り交流の良さも出て良いと思います。ただし、待合所などの環境整備も必要になりますが。
 また、途中まで送ってそこから歩かせるという意見もありましたが、場合によっては職員が迎えに行ったり送って行ったりしなければいけないので、子ども達

の管理が非常に難しくなる。到着・出発は学校にして欲しい。

○ 委員

学年に関係なく遠くの児童は送迎して欲しい。

遠くから来る子については今の方式で良いと思いますが、園バスも含めて考えればもう少し安く上がると思うので考える余地はあるのでは。

本三賀の保護者は「バスがないと通わせることが出来ない」「仕事を変えなければ学校に送ることが出来ない」と言っていました。

帰りは別として、登校は町としてしっかりやってもらいたいと思います。

○ 会長

学年で分けるのではなく、集落単位で全学年を対象とする方が良いというのが大方の意見でした。

全校児童 876 名を対象とするのか、距離要件を設ける必要があるのかも財政面も含めてどうでしょうか。

○ 委員

地域の方の理解を得るには、2.5km か 3 kmかは別として距離要件を設けるのが一番良いと思います。

○ 会長

近くの委員と協議してみてください。

○ 委員

全学区の通学路を見て回ってみました。蓮野学区の藤寄、旭ヶ丘、大夫興野は本当に遠いと感じました。

山倉学区の道賀新田、四ツ屋、本三賀、蓮潟新田も遠いと思ったので、通年で送迎の方が良いと感じました。

亀代小学区は、亀代こども園付近から通っている児童もいて、国道を横断するのも心配ですが、見守り隊もいると聞いて安心しました。

○ 委員

5.6 年生は体力が付いたら乗らなくても良いと思います。

歩くことのメリットが、前回から意見としてなくなっていると思いました。

地域の情勢と子どもの発達と安全面等含めた上で決めたら良いと思います。

○ 委員

集落ごとに距離制限で決めたら良いと思います。

亀代学区は、網代浜集落内でも 500m のところと 2km のところがあるので距離で区切るとなると難しいです。

○ 委員

登校時のバス利用は有りだと思います。

下校については、児童クラブを利用すれば安全に保護者の迎えを待つことができます。

集落によっては、小さかったり人数が少なかったりするところもあるので考慮が必要であり、距離による線引きも必要と感じました。

○ 委員

蓮野学区の藤寄方面は、歩道がないので新発田川で区切ってどこかに集合してバスで送迎してはどうか。

亀代学区は見守り隊が大勢いて、子ども達もニコニコして歩いています。

バスも良いけど何か失うのではないかと感じます。

- 委員
自分は笹神村の小学校だったがスクールバスが3台運行していて、登校は早便と遅便があり、下校は学年で区切って運行していました。
待っている間は体育館やグラウンドで遊んでいた。
- 委員
蓮野学区は新発田川向こうのバス通学を望みます。
通年が良いと思いますが、財政面もあるので夏場の熱中症が心配される時期と、冬期とかだけでも良いと思います。
- 委員
蓮野小学校区は新発田川を挟んで藤寄よりの歩道が整備されていません。
大夫興野、藤寄、旭ヶ丘はどこかに集まり、そこからバス通学するのが一番良いと思います。下校はバラバラなので面倒は見切れないと思います。
- 会長
亀代学区は集落が大きいので、歩くことの良さ、範囲や財政面からすると課題もあるようです。
また、平等性などから学校の近くに下ろして、近くの集落の児童と一緒に登校するという案も出ていました。
「②送迎の方法」についても意見をお願いします。
- 委員
山倉学区で循環バスを利用している児童は、町民会館で降りてそこから登校しています。
校内の駐車場にバスが入ると非常に混雑しますので、町民会館あたりが良いです。
先生の車が入ってくるだけでも流れを止めてしまっています。
- 委員
亀代の場合は、校内に入ってもらった方が良いでしょう。
- 委員
蓮野学区の場合は、弁天潟で子ども達を降ろしてまとまって登校するなら、わざわざ先生がそこまで行く必要はないと思います。
- 委員
弁天潟と藤寄体育館の状況を見てきましたが、登校時に弁天潟で降りてそこから歩いてくることは可能ですが、下校時にそこまで行ってバスに乗るとなったとき、1.2年生の低学年が本当にバスに乗ったのかという確認が必要になる。
可能であるならば、帰りは学校から乗せた方が良いでしょう。
- 委員
子どもを送ってくる保護者がいて渋滞するので、朝は考えた方が良いでしょう。
- 委員
8時前に送ってくる場合、歩道で止めて校内に入らないようになっている。
車が出て行くときに子どもたちに向かっていくことになり危険なため。
今より大きいバスになったり、大勢の子どもたちが利用することになった場合は心配なところがあります。
新発田川向こうの児童数は、来年68人、再来年64人、その翌年は63人です。
今現在はバスを利用する1.2年生は多くて12人です。
雨が降ると送ってくる人が多くなるので、4人とか5人です。
今日の下校時は、終了の30分前には10台以上の車が待っていて、終了近くにな

ると 20 台くらい来ています。

朝も 20 台くらいは来ますが、バスの時間にはかぶりません。

○ 会長

「③利用者負担」についても協議をお願いします。

○ 委員

基本的に無償が良いと思います。無料で乗れている市町村もあるので、お金を払って乗るという理由が見当たりません。

ただし、財政面からすると朝は送るが帰りは児童クラブを利用してもらい保護者に迎えに来てもらうという方法もあるのでは。

○ 事務局

児童クラブの利用については、利用要件があるので全児童を預かることは出来ません。

○ 会長

中学校の利用料金はいくらですか。

○ 事務局

3 か月の利用で片道 7,000 円、往復の場合 2 倍の 14,000 円です。

○ 委員

登校時は良いが、下校時は低学年と高学年が終わる時間が異なるので料金もバスの便数によると思います。

学校の実情として、今日は児童クラブに行くのでバスに乗らないというように、低学年では毎日同じところに帰らないという児童が増えています。

また、バスの利用児童が増えると保護者要望や児童の動きを把握することが難しくなる場合もでてくる。

○ 会長

有料もやむを得ないという方はいませんか。

《殆どの委員が有料でもやむを得ないとのことで挙手》

皆さんから意見をたくさん出していただいたので、事務局でまとめていただきたいと思います

○ 事務局

負担額についてはどれくらいが妥当なのか、なかなか出せないかもしれません。この額では支払えないとか、料金をいただくとした場合、不公平感がないようにするにはどうしたら良いかご意見ををお願いします。

○ 委員

料金をもらうことに関しては良いと思いますが、金額あり気ではなく動く範囲を決めないと額は決められないと思います。

○ 事務局

事業に要する額をすべて負担してもらうのは難しいと思います。

どれくらいであれば負担をお願いできるかを今後考えたいと思います。

下校については、先ほどの意見にもありましたように、1 回とはいかないとは思っていますので検討させて欲しいと思います。

○ 会長

距離の制限についての意見は少なかったようですので、蓮野学区で言えば新発田側向こうの大夫興野の 2.0 km も含まれるということになるか。

山倉学区も四ツ屋とか本三賀とかあるので、集落によってあまり距離によらない

バスの運行ということを確認しました。

亀代学区は網代浜のように学校から近いところと、遠いところとあるのでどうするかということも含めてまとめていただければと思います。

○ 事務局

地区の話では距離で分けないという事でしたが、集落で分けないで地域で分けてしまうと集落が分断されるのでそのところを確認していただきたいと思います。

○ 会長

網代浜でも遠いところと近いところをどのように考えるかという事です。
ほかの地域もありますか。

○ 委員

山倉学区はないです。

○ 委員

先ほどの4つの集落です（藤寄、旭ヶ丘、大夫興野、甚兵衛橋）。

○ 事務局

遠いか近いかの線引きは非常に難しいと思いますが、学区ごとで違うというのはどうかと思います。

特に大きな集落の場合、距離で分けない場合は集落が分断されるという事が生じるかと思います。

蓮野学区については、分校区でどうかという話もありましたが、山倉学区では蓮潟がかなり大きく距離の差があるので、それを分断させた場合どのようになるのか委員会としての見解を聞かせて欲しい。

○ 委員

登校班で決めたら良いと思います。

○ 事務局

同じ集落でも扱いが違うところが生じるという事ですが、集落単位とした方が良いか、実情に応じて考えるとかということです。

○ 委員

蓮潟は子ども会の組織として山ノ口集落があるので、校内で使っている組織として考えれば分断されないと考えます。

○ 会長

蓮潟の中でも地名で分かれているという事です。
亀代は対象としない方が良いという事になりますか。

○ 事務局

そういう事ではないので意見を聞かせていただきたいと思います。

○ 委員

「スクールバスを運行します」・「停留場はここここです」ということでいかないのでしょうか。こども園バスはそのような感覚ですが。

○ 会長

中学校と同様でそのような方法もあるということです。

○ 委員

例えば、今は5人で登校しているけど3人がバスを利用した場合2人だけで登校するという事にもなってしまいます。

- 会長
それではたくさんの意見を出してもらいました。この意見を基に資料を作ってもらい、次回の検討委員会でひとつひとつ確認のうえ委員会の意見として今後まとめて行きたいと思います。
それでは事務局に返します。
- 事務局
本日はお疲れ様でした。
以上で第2回検討委員会を終了します。

(文責は事務局。事後修正する場合があります。)